

スクールサポート隊便り

令和8年 夏号

金沢市立伏見台小学校

育友会会長 中山 聡基

地区委員長 中野 一紗

地区委員長 松原 美穂

地区委員長 藤原 裕紀子



暑さ厳しい折、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

先日、令和8年度第1回スクールサポート隊連絡会が開催され、活発な意見交換がなされました。

日頃から大変お世話になっているスクールサポート隊の方々から貴重なご意見をいただきました。

安心・安全な登下校のために

- ・子どもが川遊びをしていたケースがあり、注意をした。川遊びは危ないのでやめるよう、家庭で言い聞かせてほしい。
- ・歩道の信号は青なのに、急いできた右折車が渡っている子に衝突しそうになったことがあった。歩道の信号が青だからといって安心ではない。必ず左右を確認してから渡ってほしい。
- ・駐車中の車に近づかないことを子どもたちに伝えていきたい。
- ・ふざけて道の真ん中を歩こうとする子がいる。道の端を歩くよう伝えていきたい。

道路などについて

- ・スクールゾーンの白線や、「とまれ」のオレンジ線・足跡マークが消えていて見にくいところがある。道路の凸凹についても、窓口はどこか。→まずは町会長に伝えてほしい。
- ・信号機のない横断歩道が車のスピードが速く、止まらないこともあるので危険である。
- ・窪3丁目の交差点が時差式になっておらず、事故がかなり多い。
- ・手作りの旗を使用することで、車が停まってくれるようになった。

スクールサポート隊について

- ・サポート隊はただ交通整理をしているだけではなく、子どもたちに安全な交通ルールを教えている。左右を目視してから横断歩道を渡ることなど、繰り返し伝えることで習慣づいていく。
- ・見守りをしてくれる人が減っているので心配している。高齢化により、スクールサポート隊が減少している。入るまでは勇気がいると思うので、サポート隊の方の知り合いに声をかけていってほしい。

保護者の皆さまへ

上記以外にも様々な貴重な意見をいただきました。ご家庭でも、登下校時の交通ルールの確認のほか、今一度、通学路の気になる箇所の確認や登下校の話を聞き、安全に登下校できるようにお子様と話し合ってください。

保護者の皆さまも見守り当番のほか、できる限り、安全な登下校へのご協力をお願いします。

サポート隊の方々はお子様の元気な挨拶がパワーの源です。大きな声であいさつできるようにご自宅でもあいさつの大切さをお伝えください。